

事業所名

放課後等デイサービスえりく/えりく2/えりく3/えりく4

## 支援プログラム

作成月

2025 年

3 月

法人（事業所）理念		すべての子どもたちが「個」に合わせた成長のサポートを受けて、社会に参画しながら、幸福に生きていくための力を身につけていくことができる社会を創造する。								
支援方針		子どもたちにとって安心の居場所を大前提とし、一人ひとりが職員や他の子どもたちとの信頼関係を結びながら、「学び」「あそび」「対話」等の活動のサイクルを子どもたちが主体性を持って循環させることができるよう関与し、子どもたちが心身の健康を保ちながら、「個」に合わせた活動や参加の経験積むための環境を整えながら、その時間を伴走していく								
営業時間		12 時	00 分	から	20 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所時に子どもたちの心身の状態を確認し、その健康の状態によって活動内容を柔軟に変化させていく。</li> <li>・学校の活動への負担感を軽減するために、学校の様子等を確認し、学習や活動について必要な配慮や、学習支援や対人支援を実施していく。</li> <li>・メンタルケア（不登校等）が必要な子どもについては、対話を通して子どものニーズを丁寧に聴き、受容的な関与を通じて気持ちの整理やエンパワメントをしていく。</li> </ul>								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援や作業などの作業を通じて、えんぴつの持ち方、コンパス・ハサミ・定規などの微細運動についてアセスメントを取り、必要に応じて支援をしていく。</li> <li>・ボール遊び・野外活動等の体を使った運動（粗大運動）について、楽しみながら活動に参加し、（粗大）運動についての困難さを軽減する。</li> <li>・感覚過敏や鈍麻の特性を理解し、それが日常生活に及ぼす影響を意識しながら、環境調整をしたり、必要に応じて学校等との情報共有を図る。</li> </ul>								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援を通じて、数量・図形や空間認識等の理解や習得に向けた支援を実施する。</li> <li>・コミュニケーションの困難さによって生じる誤学習等については適切な関わりを通じて防ぎ、対話や見本を示すことで適切な行動を学ぶことができるよう支援する。</li> <li>・発達段階や特性に配慮した対話を通じて、思考や気持ちをリフレーミング等を行うことで、本人が自己を理解しながら、生じている課題や負担感についての認識について整理できるようにする。</li> </ul>								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援や対話のなかで、読む・書く・話す・聞くなどの言語活動が促されるように関わっていく。</li> <li>・小集団活動への参加の機会を提供し、多様な子どもや大人と安心して関わり、適切なフィードバックを通じて本人に合った関わり方を学べるようにしていく。</li> <li>・必要に応じて個別または小集団での対話の場を設け、感情や気持ちの言語化、他者に配慮しながら自らの意見を言うために（アサーションの）練習に取り組む。</li> </ul>								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルスキルトレーニングの教材等を活用し、本人の特性や必要に応じた社会性を学ぶ機会を作る。</li> <li>・発達段階に合わせた小集団遊びを提案し、本人がその集団や遊びのルールメイキングに参画し、主体的な活動ができるよう配慮する。</li> <li>・小集団活動の中で生じた葛藤やトラブルは、自らの感情の調整や対処をし、そこから自分で考え、自分たちで解決していくことができるような対話や関わりをしていく。</li> </ul>								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家庭の子育ての葛藤や悩みを耳を傾け、エンパワメントしながら、ご家庭が子育てにおいて大事にしたいことと本人のニーズを重ね合わせていく。また、それと連動した支援の方向性をチームで組み立てていく。</li> </ul>			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の発達段階や資質に応じたキャリア形成を目的とした相談援助を行い、本人のニーズを確認しながら、必要な情報提供を行う。</li> <li>・教育・福祉・就労等への移行に向けて、相談や見学、必要な連携等を行う。</li> </ul>			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家庭・学校・相談支援事業所・児童相談所など関係機関と積極的に連携し、情報共有のみならず、本人の特性等に合わせた一貫性を持った関わりと適切な役割分担が可能となるようにしていく。</li> </ul>			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「チームでの支援」を大切にし、職員同士の対話の場（振り返りやワークショップ）を通じて、職員が対話の力を磨きながら風通しの良い組織づくりに参画できるようにしていく。</li> <li>・職員のキャリア段階に応じて、専門性の獲得・リスクマネジメント・支援者の倫理等について学ぶ機会を設ける。</li> </ul>			
主な行事等		以下の行事等を年間を通じて不定期に実施している。 ・季節のイベント（ひな祭り・ハロウィンなど）、当法人が実施する子ども食堂への参加、課外活動（キャンプ・スキー・体育館での運動など）、避難訓練、保護者会など								